

Apache HTTP Server 脆弱性のお知らせ

平成 23 年 9 月 27 日
株式会社ジゾン

Apache HTTP Server に関するサービス運用妨害 (DoS) の脆弱性について、脆弱性が見つかっており、本脆弱性は重要度高と判断し、アナウンスさせて頂いております。

Apache HTTP Server には、サービス運用妨害 (DoS) の脆弱性があります。The Apache Software Foundation によると、遠隔の第三者が細工した HTTP リクエストを Apache HTTP Server に送ることで、システムリソースが大量に使用され、結果としてサービス不能状態に陥る可能性があります。

Range header DoS vulnerability Apache HTTPD 1.3/2. x (CVE-2011-3192)

http://mail-archives.apache.org/mod_mbox/httpd-announce/201108.mbox/%3C20110826103531.998348F82@minotaur.apache.org%3E

The Apache Software Foundation によると、本脆弱性を悪用する攻撃ツールが公開されており、既に本脆弱性を狙った攻撃も確認されているとのことで、以下のバージョンが本脆弱性の影響を受けます。

- Apache HTTP Server 1.3 系のすべてのバージョン
- Apache HTTP Server 2.x 系のすべてのバージョン

本脆弱性に対応した Apache HTTP Server 2.2.20 が 8 月末にリリースされておりますが、その Apache HTTP Server 2.2.20 で新たに発生した問題に対応済みの Apache HTTP Server 2.2.21 が 9 月中旬にリリースされており、対応済みの最新バージョンへのバージョンアップを推奨されておりますので、Apache をご利用のお客様はご確認頂けたらと存じます。

Apache HTTP Server 2.0 については、本脆弱性に対応したバージョンは現時点では提供されておられません。

詳細については、各ベンダや配布元が提供する情報を参照してください。

なお、ジゾンでは本脆弱性に関する対応を別途させて頂いております。詳細につきましては、弊社営業 (sales@xyxon.co.jp) までご連絡ください。